

社会資本総合整備計画
都市再生整備計画 事後評価シート

横芝駅南口周辺地区

平成28年3月28日

千葉県山武郡横芝光町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県	市町村名	横芝光町	地区名	横芝駅南口周辺地区			面積	57.5 ha				
交付期間	平成22年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成27年	交付対象事業費	355百万円	国費率	0.4						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業	道路(横芝駅南口駅前広場)、地域生活基盤施設(案内板・耐震性貯水槽)、高質空間形成施設(①植栽、②時計塔、③ソーラー照明施設、④点字ブロック、⑤シェルター、⑥ガードベンチ等)											
	提案事業	地域創造支援事業(キス&ライド待機場、避難所誘導板の整備、防犯灯の整備)											
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	基幹事業	高質空間形成施設(①植栽、②時計塔、⑥ガードベンチ)		整備内容変更のため削除			影響なし						
	提案事業	なし											
新たに追加した事業		基幹事業	高質空間形成施設(③ソーラー照明施設)		整備内容変更のため追加			影響なし					
提案事業	なし												
交付期間の変更		当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
変更		なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
			基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	単位												
	指標1	公共交通の結節空間の満足度	%	5.4	H21	25.0	H26	-	40.3	○	あり	○	駅前広場整備及びキス&ライド待機場の整備により、駅前の交通処理が円滑化し、歩行者の安全性も向上した。また、シェルターや点字ブロックの整備により、障害者や雨天時の利用などに対応でき、利便性も向上した。駅前空間の景観向上も含め、満足度の向上につながった。
指標2	防災機能の充実による安心度	%	22.6	H21	45.0	H26	-	44.0	△	あり	○	地域の円滑な避難誘導のための避難所誘導板整備や、駅前に耐震性貯水槽を整備するとともに、その周知に努めることで、目標値にはわずかに達しなかったものの、大幅な満足度の向上につながった。	-
指標3	夜間に安心して歩ける安心度	%	19.6	H21	30.0	H26	-	43.8	○	あり	○	小学校周辺を中心に防犯灯を設置することで、小学生のみならず、住民が安心して夜間の散歩ができるようになり、夜間の安心度の向上につながった。	-
なし													
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
			基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
その他の数値指標1											-		
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場整備により駅前がきれいになり、まちの印象がよくなった。 町道I-9号線歩道に防犯灯が設置され、夜間でも安心して散歩できるようになった。 シェルター整備により雨の日も楽に移動できるようになった。 送迎車待機場ができたことで安全に送迎できるようになった。 バス停が整備されて乗降しやすくなった。 												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	なし		なし				#REF! なし					
	住民参加プロセス	駅前広場及び町道I-8号線道路改良事業に関する説明会を実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた				#REF! なし					
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				● 今後は、地域住民や利用者・商工会とともに駅前の賑わい形成を推進していく。					
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				#REF! なし							
持続的なまちづくり体制の構築	横芝光町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定		都市再生整備計画に記載し、実施できた				● 多様な主体と連携しながら、策定した横芝光町まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけた「横芝駅前の活用」の推進を図る。						
	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議、横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部及び町の専門部会において横芝駅の利用について検討を実施し、総合戦略の中に位置づけた。		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●						
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				#REF! なし						

様式2-2 地区の概要

横芝駅南口地区(千葉県横芝光町) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	備考	目標値	備考	達成率	評価
大目標: JR横芝駅南口駅前広場の機能改善及び駅南口周辺地区の防災・防犯機能の向上による安全・安心な都市サービス拠点の形成	公共交通の結節空間の満足度	%	5.4%	#REF!	25.0%	#REF!	40.3%	H27
目標1: 横芝光町の玄関口となるJR横芝駅南口駅前広場の交通結節機能及びキス&ライド機能の向上を図り、公共交通利用者の安全性、利便性や快適性を確保する。	防災機能の充実による安心度	%	22.6%	#REF!	45.0%	#REF!	44.0%	H27
目標2: JR横芝駅南口周辺地区における災害発生時において、生活及び就労する人々を円滑かつ速やかに避難誘導する安全・安心な市街地環境を形成する。	夜間に安心して歩ける安心度	%	19.6%	#REF!	30.0%	#REF!	43.8%	H27
目標3: JR横芝駅南口周辺地区の安全・安心な歩行環境を確保し、地域防犯対策を充実する。								

■横芝駅南口駅前広場 (約3,500㎡)



■シェルター(94㎡他)・点字ブロック(78㎡)



■ソーラー照明施設(1基)・案内板(2基)



■耐震性貯水槽(容量100t)



□キス&ライド待機場 (約1,300㎡)



□防犯灯(町道I-9号線 計25基)



□避難所誘導板 (夜間自発光式 計8基)



まちの課題の変化	<p>①駅前広場等が小規模であり、送迎時の交通渋滞の解消が課題であったが、駅前広場整備により、バス、タクシー、送迎自動車の交通動線が分離され、円滑な交通処理が可能となり渋滞が減少した。しかしながら、朝夕など、送迎自動車の指定の乗降位置以外の駐停車により、一時的な渋滞の発生が見られる。また、駅前広場への入り口交差点が変形交差点となっており、交通動線の妨げとなっている。</p> <p>②駅前広場は交通島等がなく歩行者が車道等を横断するなど歩行空間の改善が課題であったが、タクシーの待機所として交通島を整備し、歩車分離を明確にしたことにより、安心して歩ける歩行空間を確保することができた。</p> <p>③複雑な道路網における災害時の円滑な避難誘導が求められている中で、避難所である小学校までの要所に避難所誘導板を設置し、その周知を図ったことにより、災害時の避難経路の明確化及び意識の高揚を図ることができた。</p> <p>④通学路である町道I-9号線等は、防犯対策が課題であったが、防犯灯を設置することで、通学時の安全性の向上を図り、安心して夜間の散歩ができる環境を確保することができた。一部、町道I-8号線等の未整備空間が残されている。</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 沿道土地利用との整合性やバリアフリーの観点等から改善の検討を進めながら、整備された駅前広場と隣接する町有地等を活用して、駅前の憩いと賑わいの創出を図る。 駅前広場への円滑な交通アクセスを図るため、駅前広場入り口交差点の改良工事を推進する。 朝夕などに一時的に発生している駅前広場内の渋滞を解消するため、送迎自動車が指定の乗降位置で駐停車するよう、利用者へのマナーアップの周知を図っていく。 町道I-8号線等の道路の未整備空間について、歩行者の安全・安心を確保するため、道路整備の進捗にあわせ、防犯灯の整備を進めていく。